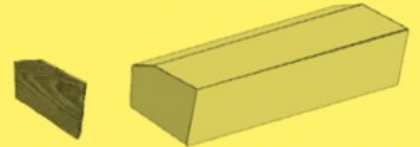




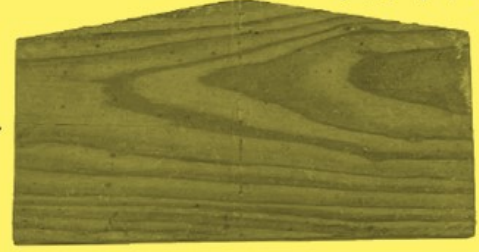
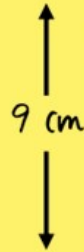
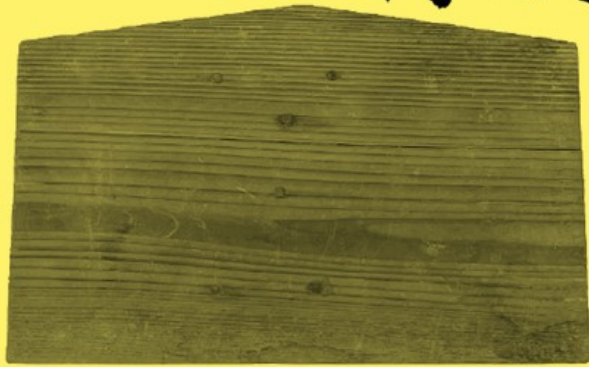
む な い し が た

しゅうざう しりょう しょうかい
収蔵資料 紹介

棟石型



しょうわ ねんごう しょう
昭和30(1955)年頃まで使用
されていました。



あつ
厚さ
5mm

24.5 cm

20 cm

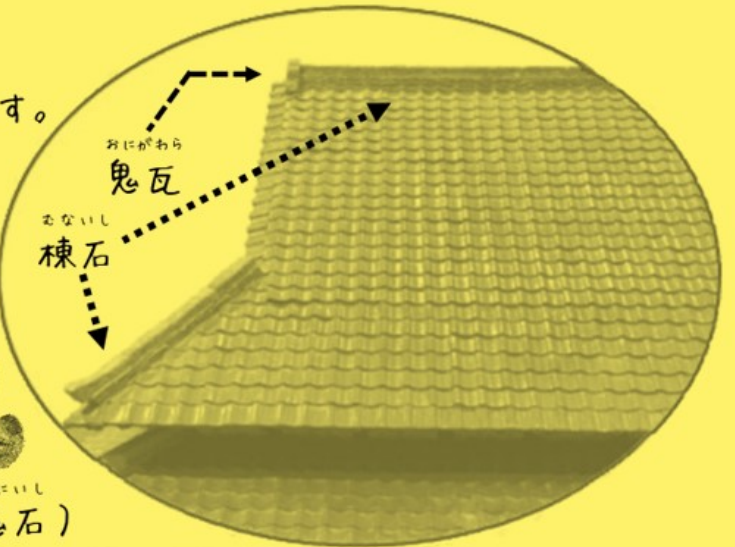
棟石型は、来待石で棟石を製作する際、小口面(棟石の端部の面)の形を採るために使用されていた木製の型です。棟石は、屋根の棟(屋根の面と面が交わる部分)に載せる部材で、出雲地方周辺では江戸時代から使用されており、船によって来待石製の棟石を輸送したことに関する天保時代の(1830~1844年)の史料が確認されています。



びょうせつてん じ むな い し
常設展示の棟石
(端石と平石)



びょうせつてん じ おにがわら おにいし
常設展示の鬼瓦(鬼石)



モニュメント・ミュージアム

来待ストーン

MONUMENT MUSEUM KIMACHI STONE

〒699-0404

島根県松江市宍道町東来待 1574-1

休館日：毎週火曜日(祝日の場合翌平日)



☎ 0852-66-9050

